

山岳遭難防止のポイント

① 無理のない登山計画を立てましょう。

自分の体力・技術・経験に応じた計画を立てましょう。

② 登山計画書（登山届）を作成・提出しましょう。

登山計画書は、安全に登山をする意識を持っていただくために作成し、万一、遭難した際の捜索・救助活動を行うために利用するものです。登山をする際は、家族等に予定を伝えておき、また、山を管轄する警察署、交番、警察本部等に登山計画書（登山届）の提出をお願いします。



③ 装備品・携行品を確認しましょう。

食料・水、雨具・防寒具、登山靴、スマートフォン・携帯電話（予備バッテリー）、懐中電灯・ヘッドランプ等



④ 情報収集をしましょう。

最新の気象情報や登る山の情報など、事前に情報収集しておきましょう。

⑤ 下山の時こそ注意し、道に迷ったら引き返しましょう。

遭難の多くは、下山中に起きています。下山は、足腰に疲労が溜まり、注意力が低下して、転倒や滑落や、道標に気付かずに迷ったりするなどの危険が高まります。ゆっくり慎重に下山しましょう。



【福岡県内の山岳遭難・水難事故の発生状況や登山計画書は下記まで】

福岡県警察ホームページ

<https://www.police.pref.fukuoka.jp/tiiki/areapolice.html>

登山計画書の電子申請はコチラ



小倉北警察署 (093)583-0110

